Searching PAJ Page 1 of 2

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-079847

(43) Date of publication of application: 20.03.1990

(51)Int.Cl.

G03D 13/00

(21)Application number : **63-233329** 

(71)Applicant : SHARP CORP

(22)Date of filing:

16.09.1988

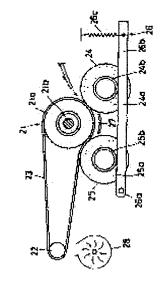
(72)Inventor: IBUCHI ARIAKE

## (54) **HEATING DEVICE**

## (57) Abstract:

PURPOSE: To obtain an image with high density by providing the title device with an upper roll having a heating source, a stand-by heating roll abutted upon the upper roll and a main heating roll and passing paper forming an image among the upper roll, the stand-by heating roll and the main heating roll.

CONSTITUTION: The upper roll 21 is provided with the heating source 21b and paper (a image receiving sheet) is heated by contacting the upper roll 21. The stand-by heating roll 24 and the main heating roll 25 are provided around the upper roll 21 and the paper forming images is passed through a carrying part 27 between the rolls 21 and 24 and between the rolls 21 and 25. Thereby, the paper is preparatorily heated during the passage



between the rolls 21 and 24 and mainly heated during the passage between the rolls 21 and 25. Consequently, an image with high density can be obtained.

### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than

Searching PAJ Page 2 of 2

the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩日本 图特許 庁(JP)

⑩特許出願公開

## ⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

平2-79847

fint. Cl. 5

識別記号

广内整理番号

❷公開 平成2年(1990)3月20日

G 03 D 13/00

7029-2H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

野発明の名称 加热装置

> (2)特 顏 昭63-233329 **ℬ**Ѭ 昭63(1988) 9月16日

眗 郷

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社

シャープ株式会社 砂出 顖 人 99代 選 人 弁理士 小森 久夫 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

1.発明の名称

瀕熬装置

2.特許請求の範囲

ii 加熱羅を備えた上ローラと、この上ローラ に当談する予備加熱ローラおよび本加熱ローラを 設け、前記上ローラと、前記予備加熱ローラおよ。 び本加熱ローラとの間に、象形成された用紙を道 過させる難送部を聚けたことを特徴とする加熱接 甚.

#### 3.発明の詳細な説明

四魔薬上の利用分野

この発明は、集料等によう裏面に像形成がされ た用紙を加熱することによって、画像定義を行う 加熱装置の改良に関する。

砂罐来の技術

無色染料が耐入された感光感圧性マイクロカブ セルを裏面にコーチィングしたメディアシートと 、前記無色製料を発色せしめる現像材料が表面に

コーティングされた受像シート(用紙)とを用い て徹形版を行う方法がある。順記メディアシート を遺傳露光後そのメディアシートと受像シートと を洒挫頭で重ね合わせて加圧すれば、光が当たら なかったマイクロカブセルの破壊により無色染料 が流出し、現像材料との発色反応により受像シー ト上に復形成がされる。

ところでこの発色像は加熱により発色反応が促 され、高濃度の画像が得られることが特別略 6 1 - 2 4 4 9 5 号)に示されている。そこで本発明 者等は例えば実賦昭63~52858号に示され るような加熱装置を用いて受像シートを加熱して いた。

節中圏はその御熱装置の機略構成を表した図で あり、内部にハロゲンランプ51等の加熱源を確 える上ローラ52と、ローラ53との間に耐熱性 のベルト54を凝雑し、このベルト54を介して 上ローラ52に下ローラ55を当接させている。 像形成された受像シート5 6 はベルト5 4に溢っ て搬送され、上ローラ52部で顔熱されて発色反

## 特限平2-79847(2)

心が促進される。その後登録シート56以上ローラ52から離れるに従い冷却され、ローラ53部でオフセットすることなく分離される。

#### (c) 発明が解決しようとする課題

ところが上述したような加熱装置により受像シートの加熱を行っても充分な高温度の画像を得られないことがあった。

これは、圧力転写部において破壊されたマイクロカアセルから流出した無色楽料が受像シート上の投像材料へ充分に染み込まず、そのため加熱を行っても充分な発色が行われないためであることが分かった。これを解決するためには、①圧力転写部においてマイクロカプセルが破壊されたのち加熱が行われるまでに充分な時間を与えて無色染料を築み込ませるか、または②受像シートを予能加熱することにより無色染料が染み込み高くすることが考えられる。

しかしながら、①の方法では像形成処理時間が 長くなってしまう欠点があり、また②の方法にお いて予適加熱のロータを別に設ければ画像形成の 消費電力が大きくなってしまう問題がある。

この発明は、加熱装置を増やするとなく予値加 熱を行うことにより高濃度の関係を得られるよう にした加熱装置を提供することを目的とする。

#### 心線題を解決するための手段

この発明は、加熱源を備えた上ローラと、この 上ローラに当接する予備加熱ローラおよび本加熱 ローラを設け、同記上ローラと、予備加熱ローラ および本加熱ローラとの間に、像形成された用紙 を通過させる搬送部を設けたことを特徴としている。

#### (4)作用

この発明の別熱装置において用紙(優像シート)は上ローラに投触することにより加熱される。 上ローラの周囲には予備加熱ローラと本加熱ローラとが設けられており、像形成された用紙は上ローラと予備加熱ローラとの間および上ローラと本加熱ローラとの間を通過したがって、上ローラと予備加熱ローラとの間を通過しているように予備加熱ローラと本加熱ロー

## ラとの間を退避しているときに本加熱される。 (近字旗類

第3図はこの発明の実施例である加熱袋質を響 えた複写観の正面観略図である。

図において複写機本体の上面には原線合11が設けられ、複写すべき原稿が観覚される。原稿台11の下方には光線12a、ミラー12b~12c およびレンズ12fを含む光学系が設けられ、原稿台11上の原稿を逸楽してその反射光を後述する離光部に導く。

技事機本体のほぼ中央部には圧力ローラ 13が 設けられている。圧力ローラ 13はスプリング等 の圧接機構により圧接される上下ローラ 13a, 13bを有し、その圧接部が圧力転写路P2とよっている。圧力ローラ 13の左上方部にメディアカートリッジ 14が、接写機本体に着駄自在に設けられている。メディアカートリッジ 14には未使用のメディアシートを巻圏した供給軸14aと、使用液のメディアシートが悪毒取られる巻取軸14bとが設けられている。 供転軸148のメディアシートは複数の数語ローラにより露光値P1に導かれ、ここで前述した 臓精からの反射光に露光される。それによりメディアシート表面の光が当たったマイクロカブセル が硬化して抽像が形成される。さらにメディアシートは圧力転写部P2を適遇し、必取軸145に 巻き取られる。

被写機本体の右側面には用紙カセット1534.
150が譲写機本体に者談自在に設けられるととにも、平差しトレイ(5cが設けられている。形成カセット153.15b 宝たは手差されている。形があせるとは要時に受像シートが結経された発像シート上の潜像に重ね合わされ、圧力をはずアシート上の潜像に重ね合わされ、無色染料等がそれなってイクロカブセルが被壊され、無色染料等がそれなってイクロカブセルが被壊され、無色染料等がそれないと、表面に投形域がされる。それはメディアシートから分離逃したよりに巻き取られる。

特员

加熱装置とは護写機本体の左下部に設けられている。第1回はこの加熱設置の徹路図である。

上ローラ21は円筒状ローラ21 aの内部にハロゲンランプ等の加熱線21 bを縮えたものである。上ローラ21より下流側(妥像シートの遊遊方向に対し)に上ローラ21よりも小径のローラ22と上ローラ21との間にグロッチーベルト23が幾架されている。グロッチーベルト23は樹えばポリイミド、ポリエステル等の動熱性を有する勘脂フィルムでなる。

上ローラ21の右下方部(上統側)および左下方部(下流側)には各々予備加熱ローラ24おおび本加熱ローラ25が設けられている。予備加熱ローラ24、本加熱ローラ25の表面には各々シリコンゴム層24aの方が本納ローラ25のシリコンゴム層25aよりも軟らかい材質で継成されている。また、予備加熱ローラ25の回転軸24b、25b

は圧換機構26により上方にするにより上方にするにより上方にするにより上方にするが、下次を動きない。 ではない かっこう 24 およびを上海 の はいっこう 24 およびを上海 ではなる。 このを上げっきる 6 c とう 24 および 機関 ローラ 2 1 燃 へ にっこう 2 1 で かっして 2 3 を介して とっこう 2 1 で かっして 2 3 を介して とっこう 2 1 で かっして 2 3 を介して とっこう 2 1 で かっこう 2 1 で

#### 一ラの構成条件側を表している。

変化が生じることがなく、形成 ムラが生じるのを防止できる。 このように加熱装置2により ートは排紙ローラ16により排 出される。

なお、第4図は他の実施例を 図に示すように加熱なでは、ログロッサーベルト33が思います。 に対し、予嫌が然ローラ34、 を各々個別の圧接機構34点。 ーラ31へであるように知って 嫌がある。本加熱ロー なべましてのよれ

特開

確定者を行うことができる。

なおこの実施例では一本の予備加熱ローラを備 えて予備加熱を行っているが、複数本の予備加熱 ローラを上ローラの周囲に備え、予備加熱を行う ようにしても良い。

## 国発明の効果

この発明の加熱整體によれば、予増加熱を行うことにより形成される順像品質を向上させることができる。また、特別な予備加熱用のヒータ等を設けなくても像形成された用紙(受像シート)を予備加熱することができるので、省エネルギー化を図ることができる利点がある。

## 4.図暦の簡単な説明

・第1図はこの発明の実施網である加熱装置の概略図、第2図は同加熱装置のローラ等の構成条件を表した図、第3図は同加熱装置を構える護写機の正面低略図であり、第4図は加熱装置の他の実施例を表した概略図である。また第5図は従来の加熱装置の概略図である。

21.31-上ローラ、

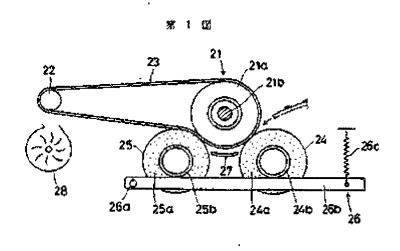
2 1 6, 3 1 6~加熱源、

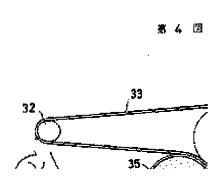
24、34-予鯖加熱ローラ、

25、35~本加熱ローラ、

26.34a,35a-圧接機構

出願人 シャープ株式会 代理人 弁理士 小森久





1



